

わたしたちの職場へようこそ！

今回は、全国でも珍しい公営のガス事業者（規模は公営では全国1位！、民間を含めると10位前後）という一面をもつガス局の経営企画課を紹介します！

第9号



ガス局 経営企画課

発行日 平成29年8月31日



▲経営企画課のメンバー。ガス局一筋の職員もいれば、「次、ガス局ね」「え？（・ω・）」という予想もしない異動により出向してきた職員まで、十人十色です。

仙台市内および近郊の約34万戸に、都市ガスを供給している仙台市ガス局。経営企画課は、ガス局の経営に関することを担当する企画係と、局内で使用している電子機器の管理・運用を担当しているシステム管理係の二つの係で構成されています。

ガス局の事業全般をとりまとめ、一方で各部署の業務が円滑に進むようシステム面で支援しているのが経営企画課です。

課長、係長2名、主査1名、主任2名、主事5名、技師3名の計14名が、それぞれの個性をいかんなく発揮しているちょっと濃い！？職場です。

1. 主な業務内容の紹介

■企画係

ガス局の経営方針の策定、ガス料金の算定、事業PR等を所管しています。会社を運営していく上で重要な経営方針を定めたり、お客さまの毎月のガス料金を算定したりしています。こんな風を書いていくと堅い業務ばかりと思われそうですが、ガス局のキャラクター、「ガスくじら」（写真右）を使用したカレンダー製作なんていう仕事もあります！

■システム管理係

ガス料金の計算やお客さまのガス設備の点検、ガス局の会計や職員の給与管理など、多様な業務を情報システムにより管理しています。また、仕事で使用するパソコンやサーバ等の管理、情報化の推進も担っています。ガス局ではお客さまのために、休日も窓口を開設していますが、当然システム対応が必要なため、勤務はシフト制にしています。システムが停止するとガス局全体の業務が停止してしまうため、まさに縁の下の力持ちの職場です。



▲ デザイナーさんとのやりとりを経て完成するカレンダー



▲ タブレットを使用した打ち合わせ。ペーパーレス会議で環境にも配慮しています。

2. うちの課のイチオシ！



経営企画課ではFacebook「ガスくじら」のページでガス局の広報を行っています。

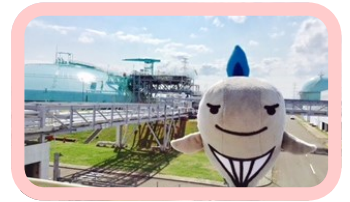


平成29年7月から開始

★URL <https://www.facebook.com/gaskujira/>

お客さまにガス局の業務を紹介したり、イベント情報を発信したりと楽しいFacebookにするべく、担当はガスくじらと毎週色々なところに取材に行っています。

どこまでまじめに面白いことができるか、頭を悩ませながらも（担当は小心者）、更新していきますのでぜひフォローしてくださいね！



▲ 「ガスくじら、港工場に潜入の巻」



▲ Facebookに投稿する写真の構図を検討中

3. うれしいこと、大変なこと

自分たちの仕事いかんによって、お客さまを獲得したり、失ったりという成果が見える職場ですのでシビアな面もあります。けれども、自分たちがお客さまの生活を支えている、というインフラ事業の醍醐味があります。（企画係職員より）

システムは、簡単な修正でも関連プログラムが100本なんていうことも……。覚えなければならない知識が多い点が大変で

す。システムは日進月歩のため、業界のトレンドにも目を配る必要があります。配属当初は書いてあることも話していることもさっぱり理解不能でした……。しかし、システムを構築して、「便利になった」、「仕事がかどるようになった」と言われるととてもやりがいを感じます。（システム管理係職員より）



▲ たくさんの電子機器に囲まれているシステム管理係のマシン室

経営企画課のある年度のスケジュール～企画係の場合～

- 4月 ガス料金改定、毎月のガス料金算定（毎月末に翌々月分の公表）
- 5月 前年度事業実績の総括
- 6月 東北経済産業局への事業実績報告
- 7月 第1四半期事業実績の総括
- 8月 ガス事業の現況作成
- 9月 ガス局パンフレット作成
- 10月 上半期事業実績の総括
- 11月 「ガスくじら」カレンダー製作
- 12月 ホームページ見直し
- 1月 第3四半期事業実績の総括
- 2月 ガス局内プッチ改善表彰
- 3月 次年度事業計画、広報計画の策定

忙しさピーク！

ちょっとのんびり

4. 職員から受験希望者へメッセージ

ガス局は、電気やプロパンガスといった競争相手のいる企業です。受験希望者の皆さんが思い描いている「市役所」とは異なるかもしれませんが、優しい職員が多くアットホームな職場です。一方で共通しているのは、お客さまの暮らしに365日貢献していくという使命感を胸に、日々の業務に臨んでいるということ。自分は向いているのか？ どんな職場に配属されるのか？と不安になることがあるかもしれませんが、「誰かのために」「よりよいものを」という気持ちで、最後には自分の背中を押す力になります。そんな前向きなエネルギーを持っている方を、お待ちしております！（採用5年目若手職員より）